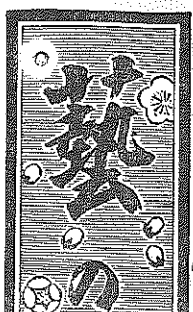


琵琶詩吟名匠録

- 日本琵琶楽協会 事務所 東京都港区西新橋一丁目 105 電話 三七八九番
薩摩正絃会 事務所 東京都港区西新橋一丁目 105 電話 三七八九番
鶴派琵琶史会本部 会主 鶴田 錦史 電話 六四三三番
大館派琵琶洲会本部 家元 大館 洲楓 電話 四〇九〇番
錦心流琵琶教授 事務所 東京都文京区大塚五ノ六番 112 電話 四四四六番
小山田賞水 事務所 東京都文京区大塚五ノ六番 112 電話 四四四六番
日本風流詩吟 宗家 兩宮 国風 事務所 東京都文京区大塚五ノ六番 112 電話 四四四六番



三笠宮妃台臨 全国名流吟剣 詩舞道の大会

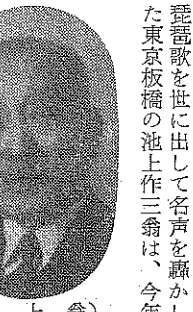
財団法人日本吟剣詩舞振興会では、昭和四十九年度の三笠宮妃母子愛育会の事業に奉賛されて全国名流吟剣詩舞道大会を五月五日(子供の日)に大分市文化会館大ホールに於て開催された。

九州地区での開催は初めての事である。笹川会長、佐々木、藤井、渡辺の三副会長並に各理事役員、笹川鎮江接待委員長他数百名が出席され、特に三笠宮妃殿下が台臨されて華々しく行われた。

東都琵琶界の恩人 池上翁は米寿

筑前琵琶会顧問として日本精神の基である情操礼節の宣揚教化に貢献され、流派の別なく弾奏家を愛護された米寿、作歌に意をそそがれ「戦艦大和」を首め多くの

- 琵琶 錦古流詩吟 古水 針谷 錦古 370 電話 高崎市岩鼻町二四七 電話 高崎 (46) 三〇〇六番
前田 秋声 141 東京都品川区西五反田四ノ八 電話 三三三三番
錦心流琵琶秋声会 150 東京都品川区西五反田四ノ八 電話 三三三三番
錦心流琵琶教授 本館 大塚 廣瀬 綴水 573 大塚 廣瀬 綴水 電話 〇七二〇 三九〇三番
錦心流琵琶水会 会主 三浦 蓮水 662 西宮市羽衣町七ノ三四 電話 西宮 (33) 三〇五八番
鶴派琵琶鶴心会 会長 友吉 鶴心 111 東京都東区豊島二丁目二ノ六 電話 〇四四二 二二二六番
鶴派琵琶鶴朋会教授所 鶴朋会 石坂 鶴朋 334 川口市安行原二ノ五三ノ三 電話 〇二九六 三二八八番
琵琶、詩吟教授 岳俊 内山 鶴崇 062 札幌市豊平区中の島一条九 丁目 電話 〇八四七 四四四番
薩摩琵琶、齊曲会 望月 啞江 272 川口市東野四ノ八ノ二 電話 〇三三三 八二九一三番
吟詠、吟舞 菊水流本部 125 東京都葛飾区青戸六ノ一 電話 〇二二二 〇〇三番
日本琵琶振興会本部 錦川 鈴木 流泉 343 越谷市大成町一ノ二二九 電話 〇二八二 二二二九番



琵琶歌を世に出して名声を轟かした東京板橋の池上翁は、今年八十八歳の宝寿を迎え御健在である。池上翁は元首相岸信介、前首相佐藤栄作兄弟の叔父で、博識高徳の東大出での老紳士である。

日本旭会理事長 榎本旭風師主催 六月三十日に 大阪高島屋で 青葉会の公演

人として堅持実行すべき五音道の基本は日本国民の精神である。此の日本精神を高揚し世界平和と文化の発展を希い、我等の伝統芸術琵琶の向上を期待して筑前琵琶日本旭会の理事長で高徳の人格者と定評高い大阪の榎本旭風師(会社社長)が、関西の筑前女流を中心として「青葉会」を創設し、その発会演奏会を昨夏大阪高島屋ホールで開催、超満員の盛況で記録的な成果を収めた。これに意を強めた榎本師は、今年第二回目の演奏会を六月三十日十一時より前回同様大阪難波の高島屋ホールに於て開催が決定した。

五州会は七月に 第三回の公演を

筑前琵琶日本旭会役員は任期満了に依り春季定例代議員会を三月三日神戸市須磨区の須磨荘会議室にて開き、選挙の結果左の各氏が当選され役員に新任された。

- 錦心流大館派教授 前田 洲月 166 東京都品川区成田東五ノ二 電話 〇三三三 三三四番
前田 洲聖 108 東京都品川区白金三ノ七 電話 〇三三三 三三四番
大館派琵琶、詩吟 洲誠 359 埼玉県所沢市日吉町三ノ三 電話 〇四三三 三三三三番
大館派琵琶 荒川 洲帆 150 東京都渋谷区渋谷二ノ六 電話 〇三三三 三三三三番
大館派琵琶、詩吟 稲垣 洲玲 154 東京都世田谷区梅丘一ノ一 電話 〇三三三 三三三三番
大館派琵琶、詩吟 松崎 洲陵 281 千葉県黒砂台三ノ九ノ二八
大館派琵琶、詩吟 洲鳳 160 東京都新宿区新宿一ノ二 電話 〇三三三 三三三三番
錦心流大館派 彼ノ 矢洲 友 150 東京都渋谷区本町五ノ一 電話 〇三三三 三三三三番
中村 洲心 166 東京都杉並区高円寺南二ノ一 電話 〇三三三 三三三三番
薩摩琵琶、詩吟晴風会 会長 浅野 晴風 164 東京都中野区中野三ノ五ノ六 電話 〇三三三 三三三三番
玄象会 弘 沢 雨 水 113 東京都文京区西片町三ノ二 電話 〇三三三 三三三三番
141 東京都品川区小山三ノ一 電話 〇三三三 三三三三番
錦心流琵琶 島 田 春 水 414 伊東市湯川一ノ一 電話 〇三三三 三三三三番
宗家 入谷 錦 鳳 116 埼玉県八潮市八条二ノ三 電話 〇三三三 三三三三番
独心自現流 小 沢 錦 弥 176 東京都練馬区旭町二ノ二 電話 〇三三三 三三三三番
輝水会北米支部 支部長 福手 錦 稜 400 甲府市相生町二丁目四ノ七 電話 〇三三三 三三三三番
支部長 志田 錦 禪 400 甲府市相生町二丁目四ノ七 電話 〇三三三 三三三三番
支部長 長谷川 錦 侯 405 山梨市小原西一ノ一 電話 〇三三三 三三三三番
幹事長 近藤 錦 秋 400 甲府市朝日三丁目十一ノ七 電話 〇三三三 三三三三番
輝水会本部 支部長 西山 錦 耕 176 東京都練馬区旭町二ノ二 電話 〇三三三 三三三三番
副理事長 西山 錦 耕 176 東京都練馬区旭町二ノ二 電話 〇三三三 三三三三番
正派薩摩琵琶詩吟 赤心流 赤心流 家元 420 静岡市西草深町三ノ三 電話 〇三三三 三三三三番
正派薩摩琵琶詩吟 最上 穂 洲 031 八戸市内丸九十一 電話 〇三三三 三三三三番
正派薩摩琵琶詩吟 伴野 鶴 風 420 静岡市袋谷三丁目一ノ三 電話 〇三三三 三三三三番
日本吟詠詩吟正吟会 奥村 慧 水 456 名古屋市熱田区代田町一ノ一 電話 〇三三三 三三三三番
日本流古流皆伝教師 四方 田 錦 隆 375 藤岡市古波町二ノ二四六 電話 〇三三三 三三三三番

五州会は七月に 第三回の公演を

日本旭会新役員

### 豪華絵巻で飾る 咏混リサイタル

#### 満員の観衆激賞

菊水流吟舞家永田咏混女師の振付作品披露の初のリサイタルが既報の如く桜花咲き始めた四月五日夕四時より東京千代田区内幸町のイイノホールで催された。会場は八百余の定席のある交通至便の所、幸に陽春の暖かしの好天で客足も早い。会場入り口には各方面より祝贈のお花が並び人気を添えて女師を讃う。

演技は大野忠造作詩「兜」を、菊水流本部会長菅根修光師の吟、堀井小二郎尺八伴奏で上演、女師の美しい舞と綺羅びやかな衣裳に



先づ恍惚させられ、殆んど満員に近い観客が盛んに拍手で讃えた。鳳凰の舞、本能寺、吉野懐古、晩翠荒城の月、肥後陣中作、大阪城と吟題の進展につれて、舞も門弟の首脳組が参加して華麗な舞台となり、吟者も交代しての熱演で、伴奏も尺八、琴、鼓が加わった。舞台照明にも気配が察せられた。五時半には満員で空席なき人気であつた。吟舞「黒田武士」は永田宗家と宮坂、齊藤、竹内、石原五人の舞、菅根会長の吟、尺八、箏、鼓陣指揮加賀麟太郎の面々で上演し豪華さを見せ盛んな拍手を浴びた。配所の月、祝賀の詞、雪月花、山中の月は吟者も題毎に替つたが、祝賀詞の山田州鳳氏に出色味を感じられた。桜花賦は若手花形が、花枝を持つて踊る美しい場面、菊水剣の舞は、高弟宮坂さんの熱演で特質を發揮。春望につづく凱歌も賑やかな舞台。源平組曲は、五奈橋、青葉の笛、屋島懐古と史上高名な物語の吟舞。鈴木流泉の琵琶一壇の浦一、終りが吟舞御前の五題で好評を受けた。最後の吟舞「おくの細道」は、永田宗家と一門の精鋭七舞花形と琵琶の望月唯江、鈴木流泉兩名手の組合せで上演され、双方の熱意と妙技が見事に舞台で実を結び、満場を酔わせて成

功された。  
(写真は永田師の舞台面である)

### 徳高い岩田会長 全快祝いの盛宴

錦堂派の琵琶有志で結成されてる清吟会の三田村錦堂理事長は、会長岩田錦堂師が一昨年来神痛症で承らく休養されて居られたが、漸やく回復されたので其の全快祝いに三年越しの温習会を、四月八日午後二時より渋谷区神山町の割烹酒場で催された。当日は折りの全快祝とあつて馳せ参じた有志は、三田村氏を筆頭に、中村錦堂、西村錦堂、中村錦堂、西村錦堂、大森錦堂、吾妻江風、山田州鳳、森原夫妻、鈴木普士、望月唯江、豊島老、潮錦堂、宮坂さん等の外女性数名で、温習会長の岩田会長を正座に両翼に着席す。

会長をお慰めとして中村錦堂氏が先香で「鉢の木」を熱演、張り含む美声妙曲に会長の笑顔ほころぶ。中村錦堂、西村錦堂、大森、山田、桑原と有志の琵琶演奏と、女性二人の詩吟、更に吾妻、潮、三田村、齊藤の琵琶演奏、望月師の吟で菊水流の宮坂菊風さんが「荒城の月」を舞うなど賑やかに二時間半を賑し、五時近く祝宴は開かれ、三田村理事の挨拶、鈴木流泉の友社長の祝詞、岩田会長の謝辞があり、清吟会より岩田会長と鈴木氏へ花束が贈られ、吾妻氏の発声で「岩田会長全快と清吟会の発展」を祝つて乾杯を挙げた。

### 山田翁八十賀の 祝賀琵琶会盛況

湘南四絃界の元老で、船越町会長、神社総代始め幾多の名譽職を有す紳士山田幻水師は、現在横須賀琵琶連盟、一水会支部の会長で温厚至誠の人格と社交で信頼され人望厚いが、師は今年八十歳の迎寿に達したので、琵琶連盟では山田会長賀の祝を兼ねた春の演奏大会を桜花満開の四月十四日船越公民館に於て開催された。この日雨模様のお不安定な空であつたが山田師への敬意と名手の妙技を聞く楽しみで来場者の足も早く、開演十時には相当の入りである。

会場内は紅白の幔幕を廻らし、田川、小泉両衆院議員、船越神社役員、船越年金長寿会役員、伊豆三溪園、小松、秋本の諸氏より祝贈の生花や花輪が並び高徳を偲ばせ祝賀気分が溢れてゐる。演奏は予定通り開始、会員合奏「金剛石」を序に、山本、石井、酒井、齊藤旭島と錦心、筑前西派の精鋭の熱演が続き拍手の聲援が起る。更に森、末吉、安西の各演奏、小

関、采崎両人の合奏曲。齊藤、小柳の錦心と筑前の合奏等が上演されて大衆の支援を受く、鈴木、平野の両者が各独奏で拍手を起す。日本舞踊小島タカ子、藤原菊太郎外二名が各単独舞で登場された。東京の芸の友社社長長谷の挨拶は、山田会長と並び登壇して述べられ、日本芸能顕彰会より山田翁の功績に対し、トロフィーと徽章、客員水女史へ、功勞牌と徽章を代行で贈呈し、満場の拍手を受く。横須賀連盟より山田、齊藤両師へ花束贈呈、祝電が披露され、山田翁の親友、秋本女史の祝詞があつて祝の曲を齊藤水師の歌、山田師の絃で奏された。このあと筑前琵琶の名人である大阪の山崎旭幸師が「英水」の曲で初お目見で、演技の至妙さ格調高い芸風は流石に日本一の名人の實績を示され満場を陶酔させた。引続き鈴木謙水、榎本山水、梅沢阿水、中谷雲水、山口連水、石井桑水、土橋虎水、曾我竜城、山田会長等の諸名手が熱演されて賀会を飾り満員の聴客の盛んな声援拍手を沸かせ午後七時過ぎ閉会した。

この日山田翁は入場者全員に自祝の赤飯と手拭の記念品を贈呈されて感謝され、会場内はニコヤカな笑顔に包まれ華やかであつた。

### 佐藤信二後援会

前首相佐藤栄作氏の次男信二氏は、慶応義塾大学出身の秀才で、日本鋼管会長の課長として活躍されて居られたが、氏は新生活運動をリードして政治運動に参加の決意を固めて居る。この事では後援会の会員組織中とか、新しい政治家と期待す

### 鶴田名人指導の 鶴翔会の公演

#### 六月十一日夕に 第一証券ホール

琵琶が太古印度より我が国へ伝わり、日本独自の音楽となつて今日に至るが、この邦楽琵琶を戦後初めて米國で開催された世界一流音楽家参加の記念公演に初出場して「日本の琵琶」を広く認識させたのは鶴田錦史名人であることは周知のことである。その鶴田師は兩来世界各國から招かれ、毎年二、三回欧米や隣國東亞の各地へ海外公演されるが、今年も中国や米國に在る國連への出演が確定してゐる。師はその多忙の身でありながら門下の指導には傾る熱心で、慈母の如き温情を傾けての教導で一同を感動させてゐる。

師の門下生は古典曲研究と現代曲(進歩型)研究との二様あるが今一回「鶴翔会」と命名し其の第一回公演を六月十一日夕六時半より日本橋三越前の第一証券ホールにて開催し、古典と現代琵琶を上演してファンを驚かす企圖である。出演者は友吉、石坂、半田内山、榎本、立川の馴染深い方々から新人組の半田、田中、緒方、三

(鶴田錦史師)

宅の精鋭達で、奏曲にも発表曲を加えて愛好家の期待に添うべく張り切る。奏曲は  
後寛 緒方満博。絃鶴田錦史 ▲小栗栖 榎本鶴堂 ▲致盛 内山鶴堂 ▲湖水乗切 半田鶴炎 ▲木村重盛、石坂鶴朋 ▲春の宴(合奏) 半田綾子、田中雪雄、三宅博。笙伴奏豊英秋 ▲扇の的 立川鶴祥 ▲大楠公 友吉鶴心  
以上であるが、鶴田錦史名人が心血注いで教導された真技の発表だけに大いに注目されよう。

旭萃会東京本部の琵琶温習の会  
筑前びわ旭萃会東京本部では、初夏の温習会を六月九日午後中野駅前第三ビルにて催されると。

### 筑前 紅会の公演

六月十三日午後三時越劇場に於て  
東京の筑前壇に咲き揃う名花の中に「花王」と讃えられ一際研えた高香の名品は、格調高い押田旭



(兼押田旭翁)

翁師の至芸である。押田女史は旭会女流の長老で名声高い婦徳者である。その押田師を主柱に同好の原田、原、田中、仲川、小笠原、原島の七名花で結成したので筑前

### 謹告

芸の友紙副刊以来二十五年目を迎へまして御愛読者皆様の御健勝を祝ひし多年の御支援に対し厚く御礼を申し上げます。昨年来の諸物価の暴騰に依り用紙は三倍の高値となり、人件費、交通費の急騰に加えて近く又も諸賃金の大幅値上げの予報が伝えられ、運営に支障を生じますので茲に六月より止むなす料金改定を致します。御理解をお願いいたします。

- 一、誌代会費一年分金千八百円
  - 一、名匠録登載(年間十回、購読会費共)一年金四千円
  - 一、一般広告料、三割増額
- 右の通り改定致します。  
昭和四十九年六月

### 東京旭会の公演

六月二十二日に  
第一証券ホール  
筑前琵琶橋旭翁宗家の膝元である東京旭会は、六十余年の古い歴史を有し、毎年春秋に大会開催が恒例となつて来た。今年の春の演奏大会は六月二十二日に日本橋三越前の第一証券ホールにて全会員が出揃つて妙技競演を行うと吉田旭明幹事長始め各幹部と首級員会にて上演曲を選考中である。

発表も期待されよう。当日の演奏は、詩吟三題を序に、琵琶三曲上演についで特別出演に大阪の高千穂旭楓女史、薩摩派の須田誠舟氏の出場あつて紅会員の順演となる。番組の曲目と演奏者は  
詩吟至船 石井松幸 ▲詩吟山中問答 坂本松良 ▲詩吟金州城 八重山蓉峰 ▲琵琶羽衣 旭莊会々員 ▲若き致盛 若宮旭登 ▲太田道灌 三上旭風 ▲坂崎出羽守 大阪高千穂旭楓 ▲吉野落(下) 正絃会須田誠舟 ▲養老 原田旭柳 ▲大楠公、田中旭千栄 ▲大石主税 小笠原旭星 ▲羅生門 仲川旭朋 ▲吟歌舞人面桃花 吟宮武。びわ押田、原、原田、等西海。立方中村冠子、中村恵子 ▲加藤清正 宮武旭豊 ▲歌謡びわ三吉しぐれ 原旭潮、絃吾妻江風。三絃三上 ▲忠度 原島旭粧 ▲新曲田東狭間 押田旭翁 ▲白虎隊 劍舞飯野正喜。吟若水桜松 ▲舞踊くれなゐ 紅会々員。立方田中旭千栄、小笠原旭星。(以上)この会今度の公演は多種多様な人気を呼び盛況が予想される。

日時 六月十一日 (午後六時半開演) 会場 日本橋 第一証券ホール

# 会演奏会 鶴翔会

派 鶴 派 鶴  
古 典 と 現 代 曲 を 演 奏 主 催 鶴 翔 会



### 華やかな旗上げ 東都旭会の発会

筑前琵琶東都旭会が昨年結成され、斯界の重鎮で日本旭会の理事である藤巻善徳が会長に就任し、六十余年の古い歴史を持つ東京旭会と共に大東京に二つの旭会が出来た。角力に東西の席別ある如く、琵琶芸術の練磨向上を期すためには互に競争心を強めるのも一策であろう。

新編「蘇我」四月二十九日の天皇御誕生祝日に豊島区池袋東口の区民センター六階文化ホールでの東都旭会当会記念の琵琶演奏会は、前夜の雨も止んで燦々たる太陽の輝きを照らし、同会の前途洋々を祝福する様な明示である。演奏は前号報道の通り藤巻善徳(良寛さん)を序曲に一つの欠演もなく整然と進められ、五番目の「伏見の吹雪」から九番の「衣川」までの五曲は琵琶演奏に併せてスライドを併映して内容効果せしめたのは好印象の間に「安宅の関」の合奏が映えた。華道華の恵み、茶道松風の曲の二曲は琵琶に連れて実演があり衆目を引き、吉野山懐古も舞踊入りであった。茲で式典に移り鈴木芸の友社長の祝辞、藤巻善徳会長より会創立の功労者藤巻善徳(良寛さん)、古川旭治、林田旭史、内田旭章三女性(金盃)を日本芸能顕彰会より贈られた表彰があった。この頃は会場満員の盛況であった。

第二部では、藤巻善徳(唐人お吉)に続く合奏(天の羽衣)と新

琵琶楽の上演で舞合一杯に並んだ十数名合奏の華やかさを見た。藤巻善徳、大津旭紅、原島旭延、会長藤巻善徳の大家の妙技巧演で感激の記念会は幕を閉じた。会場には橋本翁宗家、日本旭会より祝贈生花が飾られ衆目を惹いた。

石田琵琶店主催  
江島神社奉納の  
琵琶祭は盛大

東京で琵琶製作開店以来約百年の歴史ある老舗石田琵琶店が、芸能の守神として信仰されているのが江島の弁財天である。琵琶譜を作って毎年一回同社へ参拝奉納琵琶祭を行って神へ感謝を捧げて来た。今年も十三日同社の奉納琵琶まつりに五月五日に江島神社で催し、講主石田琵琶店主一家と諸話人辻清剛、鈴木善士、筑前琵琶紅会、正統会、湘南地区演奏家、東京琵琶界各手並に青森県八戸市からの参加もあって六十余名が昇殿正式参拝の後、午後一時から拝殿に於て十曲に及ぶ奉納演奏が行われ三時近く終わったが、参拝の善男女や子供が黒山の出入で賑い賑いそうに賑わっていた。詳報次号へ。

木原綾子女史活躍

五月九日午後五時NHK「今日の邦楽」で琵琶(大高源吾)を放送し好評を受けた木原綾子女史は千葉県船橋市にある銀行支店長の夫人で、明朗な社交家で東京や地方の演奏会に出演され人気の花形

である。門下の指導にも熱心で錦びわ界屈指の名花と讃えられる。

名人錦襪師を偲ぶ  
追悼演奏会賑う

琵琶一代の名人水藤錦襪師逝いて一年、故人最後の舞台となった三越劇場で、而も命日の四月二十五日に行われた追悼演奏会には、錦びわ本部主催、琵琶楽協会後援であった。舞台向って左に故人の遺影を安置の祭壇と、会場前ロビーにも遺影を花で囲んだ祭壇を設けたのが名人を偲ぶす配慮であった。演奏は、初手向「春秋譜」を新部、藤波、津谷、木原外二名で奏し、以下独奏で三曲ありて来賓に移り、仲川、藤巻、浅野、紅会輝各氏の単奏。故人のレコード奏で「屋島懐古」を菊水流永田吟泥さん外二名の舞いで華を添え、山元、鈴木西大家の手向奏。詩吟三題ありて田中さんの演奏。挨拶は錦びわ一門水藤五郎を中心に十余人が舞合に並び、辻清剛、松野紫雲、藤巻善徳の三氏が追憶の辞を述べ、嗣子五郎の詞で終り、錦襪吹込みのテープ「時雨曾我」の演奏で故人追憶を深めた。演奏は更に水藤五郎のうづほ猿、新部、藤波、都三者合奏の五位猿、神戸三浦蓮水、都錦襪、若水松松の弾奏最後に錦びわ本部連合同の良寛詩境を立入り琵琶と詩吟で上演された。

板谷氏夫妻上京

昨秋政府より勲五等瑞宝章受章された板谷芸能界の名士板谷翼

氏は、首相主催の観桜会へ出席のため、夫人旭島女史と四月十五日東京、十六日の観桜会へ臨席されて十八日退京帰成された。

誕生日祝い客で賑った水藤師邸

東京琵琶界の大御所と敬称される水藤枝水師は、四月八日の祝意こ生誕日の誕生で七十九の春を迎えられたが、この日水藤家には琵琶関係の有名人や、会社関係とか政治関係の有志等が押しかけ、また月始め頃より祝い品や祝電が届け、お祝電話など忙しうかり賑ったという。

四月の琵琶振興会  
故吉水師の追悼会

日本琵琶振興会々長の鈴木流泉が、首相主催の観桜会へ出席のため、夫人旭島女史と四月十五日東京、十六日の観桜会へ臨席されて十八日退京帰成された。

暑中交礼お願い

芸の友紙御愛読諸様の御健勝をお喜び申し上げます。

本年も恒例に依り暑中御見舞の紙上交礼を八月一日付で発行致します。今年は昨冬の諸物価暴騰と人件費、交通費の急高騰により止むなく料金も値上げとなります事御理解下さる様お願い申し上げます。御氏名掲載料は、一人一割金式千円、三千元五千元、七千元、壹万円以上、御申込みは六月三十日限りで、料金を添え御氏名住所明記して申込みをお願い申し上げます。

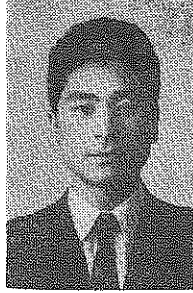
芸の友社営業部

海外へ出演された  
須田誠舟氏の誉れ

薩摩琵琶演奏家として外国より招聘され、公演音楽会へ出演された名手は極めて稀れであろう。東京正統会の若手代表巧者の須田誠舟君が五月六日香港の音楽会より招かれ出演され、薄陽江を演奏して琵琶の真妙技を披露して絶賛を受けたことは誠に榮誉で、氏の将来に輝きを添えよう。

お断り

本紙は記事掲載のため今春各地で催された演奏大会の情報や記念写真等の掲載は止むなく七、八月号へ延ばす事になります。御了承下さい。



(須田誠舟氏)

### 全国少壮吟詠家 審査決選大会

財団法人日本吟詠詩舞振興会主催の第二回全国少壮吟詠家審査コンクール決選大会は、三月十日午前十時開始で東京久保講堂に於て笹川良一大会々長、審査委員長佐々木孝吾、審査員藤井芳洲、渡辺岳神、牛尾崇徳、菅川雪山、黒川哲泉、深田光雲、榎垣賀陽、山元錦城、横山岳精、大島宗一、大野恵造、石川健次郎、船川利夫諸氏が列席、全国各地の予選で優位を占めた選手百五十名が出演されたの競吟である。選手中約十名程は欠席されたが、出演者の内には中途で息切れとか時間延びで失格もあったが優位三十名が優秀成績者と発表され表彰された。その優秀者氏名は次の通り。

矢間道子、樋口捷一、辻島利隆、上原豊、三好紀夫、金井常之、幸田勝弘、増田忠和、横田博、中尾克久、長岡政秋、綿引健次、小林和、大木弘泰、真木孝三、中川好久、松坂比呂志、仁科教博、関口法男、秀平昌巳、小川澄子、本村正子、高橋忠、平形孝、村辺辰子、土方友一、秋山昌徳、若原将昭、石井武士、長谷本延藤。

当日は大会参与として北海道、東日本、中部、近畿、中国、四国、九州各地区の役員大家が集った。

聖徳太子平和誓儀  
が韓国寺院に奉安

京都釈迦堂内にある全日本聖徳太子平和誓儀を韓国寺院に奉安した。

鎌倉まつりに  
曾我師が奉奏

鎌倉の松まつりが四月七日から十三日まで催され、静の舞、ヤブサメ、真白き富士の横記念像建立十周年記念等が他行事と共に行われたが、稲村崎の記念像前の式典で、曾我曾城師は自作詞の「真白き富士の嶺」を琵琶奉奏された。

板谷旭邑名人の  
琵琶楽光邑会  
春季演奏の会

筑前琵琶の名人で高名な板谷の板谷旭邑女史は、大和流琵琶楽の宗家山崎光樹師(山崎旭幸)の最高弟で宗師の資格大家である。板谷市の邦楽舞踊協会の役員で素晴

しい人気者で知られるが、師は四月二十七日正午より紙屋町の日立センターホールにて光邑会春の演奏会を催し、一門の長尾、山田、

竹谷、大原、水野、原田、長本、藤川、福城、田中、荒谷、渡辺の各会員と他数会員が出演。特に大阪より宗家山崎師が出演され人気を呼んで盛会であった。

会の江頭法輪老師は、日韓友好親善増進の意をふくめ、世界の平和と万民の福祉を念願して聖徳太子平和誓儀の合奏像を韓国仏教六眺宗務院金水寺へ贈り奉安されることになった。

鉦水会女流連の  
靖国大祭に奉奏

遅子の平野鉦水師門下の鉦水会女流連は、四月二十三日靖国神社の大祭に同社能楽堂にて八名で琵琶合奏「静」の曲を奉納し、参拝者より感謝賞賛された。写真はその舞合で、右より田中鉦藤、石渡鉦水、本庄宵水、鈴木鉦澄、姉崎鉦水、三門葉水、坂井田鉦静、佐々木鉦邦の各氏。

詩吟学院岳風会  
全国吟道大会

六月二十三日  
九段会館にて

吟界の偉人と称えられた木村岳風先生の遺業を継ぐ日本詩吟学院岳風会総本部は、全国会員三十余万と評され、一流派としての勢力は全国一の大団体である。同会恒例行事の毎年一回の全国吟道大会の四十九年度は、六月二十三日東京九段会館に於て開催されると。

四明会廿五周年  
記念琵琶演奏会

関西に於ける最大の薩摩琵琶団体である京都の四明会は、斯界の大元老である栗本天秀翁の提唱で昭和二十四年春創立されてより二十五周年を迎え、その記念会が五月十一日より金比羅宮会館にて開催され、京都、東京、浜松、大阪、久留米、鹿児島、神戸、豊中

現代が要望する  
新しい政治家

▲糸山英太郎氏紹介▲  
現在の衆参両院議員の方々は、個人としては立派な方であるが党員としての政治活動を見ると国民を念頭に置かぬ行動を多く見受け、政治家の良心に疑問を抱く。茲に紹介する、糸山英太郎氏は、青年実業家で、社会福祉を始め財団、社團、政治結社、芸能、体育と各方面の団体から対外協会等二十余の役員を肩書とする活動家で極めて真面目な紳士である。日本吟詠詩舞道振興会の会長笹川先生の親戚という。近く参院選に立候補されるとの意志を有すとかである。

各地名流出演  
主催 榊本旭風  
後援 青葉会後援会

筑前  
琵琶前  
青葉会演奏会

日時 六月三十日(日) 十一時開場  
会場 大阪難波 高島屋ホール

各地名流出演  
主催 榊本旭風  
後援 青葉会後援会

